



# 浜っ子

発行 カトリック浜寺教会  
高石市羽衣 2-2-27  
TEL 072-261-1563  
FAX 072-261-1594

2023年9月号(2023.8.26 発行)

## 残暑 お見舞い申し上げます。

夏のお疲れが出てはいませんか？もうしばらく厳しい暑さが続くようです。水分補給を忘れず、体をいたわりながら乗り切りましょう。コロナ感染にも、引き続きお気をつけてお過ごしください。

聖堂内は礼拝者が多く、入口の聖水も皆さんで使用しますので、聖堂に入る前の外での手洗いと消毒、マスクは継続します。**感染対策へのご協力 いつもありがとうございます。**

## とく 「シノス」の取り組み

はまでらきょうかい  
浜寺教会 M・F

「シノス」という耳慣れない言葉は、私たちとどのような係わりがあるのでしょうか。

「世界代表司教会議」と表されています。司教会議なので、我々信徒は係わりがないと捉えていました。でもフランシスコ教皇は、世界中の信徒に、「共に考えよう」と呼びかけられました。

2021年10月10日、バチカンのペトロ大聖堂で「世界代表司教会議(シノス)・第16回通常総会」の開会ミサを捧げられた時のお説教です。

『イエスが旅に出ようとされると、ある人が走り寄り、ひざまずき、「善い先生、永遠の命を受け継ぐには、何をすればよいでしょうか」(マルコ 10・17～30)と尋ねたところから、イエスとこの人との対話が始まるのです。福音書が語る「旅に出るイエス」、この人と歩みを共にしつつ、彼の心からわき出る問いに耳を傾け、イエスの姿を観想し、わたしたちキリスト教共同体が、神のなさり方に倣い、歴史の中を歩みながら、人類の様々な出来事をつかち合っているかを、教皇・司教・司祭・修道者・信徒たち、一人ひとりが自問しなければならない。シノスを行うとは、同じ道を共に歩むことを意味する、イエスがある金持ちの男と「出会い」、彼の問いに「耳を傾け」、永遠の命を受け継ぐには、なにをすればよいかを「識別する」手助けをしたことに注目され、シノスにおいても、この3つの態度が重要である』と教皇様は語られました。(バチカンニュースよりお説教要旨)

では教会共同体はシノスを行うことについて、具体的にどのようなことをすればよいのでしょうか。いずみブロックは9月に「ブロック交流会」を企画しています。コロナ感染の危機感を持ちながらも、後ろ向きになることなく、コロナ禍の中で途絶えていた、信徒間の交流が大切であるとの考えからだと思えます。久しぶりに出会い、お互いの話に耳を傾け、少子高齢化社会において、教会として考えること等々を、焼きそば、うどん、おにぎりを共に食し、語り合う。そこにイエスも共にいてくださいます。どのようなお顔をなさっていらっしゃるかと、思うだけで喜びにみたまされませんか。

シノスのロゴマークに表されているように、太陽であるイエス様に照らされ、大樹のイエス様に守られ、そのもとに司教、信徒の区別なく「共に歩む」。残暑とコロナの厳しい状況ではありますが、イエス様と共に浜寺教会で集いましょう。



## <<平和旬間行事として 8月6日>>

「平和について、ちょっとかんがえてみませんか？ ～今、わたしたちにできること～」

I・H

今年の平和旬間行事を担当することになった時に、頭に浮かんできたのは、5月に広島で行われた、先進国首脳会議、通称 G7 広島サミットのことでした。

評議会で、承認をいただいた時に、社会活動委員長から今年のテーマが、『希望を持ってともに歩む～あきらめずに目を覚まして～』であることを教えてもらいました。

「今、現実には世界では何が起きているのか？」「それを、どれくらい知っているのか？」「どれくらい関心があるのか？」「何を諦めないのか？」「誰とともに歩むのか？」

そういうことを分かち合いたいと思い、準備に取り掛かりました。

いかに自分が何も知らないかということを実感するとともに、また、多くの日本人が世界に無関心なのかもしれないと感じました。それが、悲しくもありまた怖いことだとも感じました。ひとりひとり違った存在である私たちなので、どう感じるかはそれぞれだとは思いつつ、まずは、知ることが大切だと感じました。

今現在、多くの国で争いがあり、多くのかけがえのない命が失われている。ロシアとウクライナだけではない、イスラエルとパレスチナだけではない。戦争に巻き込まれ、迫害を受け、大切な人、大切な家族の命を奪われる人々。高齢者、女性、子どもという無力な人々が最も多く犠牲になるという世界。



こういう世界にあって、私たちひとりひとりにできることは何か？

見ているだけで何もできないのか？

そんなことはないと思うのです。

声をあげてデモに参加するとか、募金をするとか、世界を変えるために行動するとか、そんな大きなことはできなくても、近くにいる隣人に声をかけ、ともに話をし、ともに分かち合っ、ともに祈る。そんなことから始めてみてもいいのではないのでしょうか。

それぞれが、誰かの為にできることを考えて、行なっていく。

そういうことで、小さなひとりが大きな輪に、波になることもあるかもしれません。

誰かのために、何かを始めてみませんか？

\*\*\*\*\* 編集者追記 \*\*\*\*\*

今年の浜寺教会の平和旬間行事は8/6のミサ後に開催されました。先日、伊原さんが自ら広島、長崎を訪れ、改めて心に刻みなおした平和への想いを、沢山の写真と共にスライドにして、我々信徒に届けてくださいました。

参加した信徒は皆熱心に耳を傾け、後にグループに分かれて小さな分かち合いを行いました。「隣人と共に分かち合い、共に祈る」ことで、自ら平和を実現していく第一歩となったことでしょう！

丁度、広島の前爆の日と重なったこの日、広島では平和祈念式典が行われました。

被爆 78 年となる今年、こども代表として2人の小学6年生がとても立派に「平和への誓い」を宣言しました。身近なところから平和を実践していくという点が共通していましたので紹介いたします。



「みなさんにとって「平和」とは何ですか。

争いや戦争がないこと。差別をせず、違いを認め合うこと。

悪口を言ったり、けんかをしたりせず、みんなが笑顔になれること。

身近なところにも、たくさんの平和があります。〈中略〉 私たちにもできることがあります。

自分の思いを伝える前に、相手の気持ちを考えること。友だちのよいところを見つけること。

みんなの笑顔のために自分の力を使うこと。今、平和への思いを一つにするときです。〈後略〉」

広島の前爆への想いは子供達にしっかりと引き継がれています。是非、YouTube でご視聴してみてください。

[\(248\)【被爆 78 年】「平和への誓い」こども代表【全文】「被爆者の思いを自分事として受け止め、自分の言葉で伝えていきます」 - YouTube](#)

「自分もキリストの平和を振る舞いと言葉でしっかり周囲に伝えていかなければ！」と心新たにした一日でした。

すべてのいのちを守るための月間(9月1日～10月4日)

<< ご結婚おめでとうございます 8月13日 17時~ >>

TRAN ○ ○(チャン ○ ○)さん ♥️ NGUYEN ○ ○(ゲン ○ ○)さん

ゲン バン ナン司祭の司式で、約 50 名の参列者が、共に二人の門出を神様にお祈りしました。同郷の司祭や聖堂の飾りつけにシスターも駆けつけてくださり、聖堂内がベトナムの教会のように、華やかになりました。さらに、ベトナム青年の聖歌の合唱は力強く、二人の将来に力と勇気を与えているようでした。たくさんのお恵みを受けて、お幸せになられますように…♥️♥️



ベトナムの結婚式には、  
ピンク色が多く使われるそうです。

<< 夏の思い出… 8. 20 >>

暑さに負けるな!!



コロナのため 2020 年から中止されていた、日曜学校の夏のイベントが再開されました。かつて恒例だったスイカ割りに始まり、スーパーボールすくい、水風船バトルへと続きます。ベトナムのちびっこたちも参加してくれて、久しぶりに子供たちの生き生きとした笑顔と歓声が浜寺教会に溢れ、リーダーはじめ、大人の人達もいっぱい元気をもらいました!

傍らのマリア様も、嬉しそうに微笑んでおられるように見えました。

暑い中、掛け声で応援して下さった皆様、  
また、子供達のためにご寄付くださった皆様、  
ありがとうございました。



